

明治十八年

沖繩縣久米島、久場
島、釣島、國標建設
件

下
等
二

甲号

甲子百十一号

久場島奥釣島、本縣所轄標板

建設之義ニ付上申

本縣下八重山群島、北西ニ位セル無人島久場島奥釣島之義本縣所轄トシ大東島ノ例

ニ倣ヒ本縣所轄ノ標板建設致交儀ニ付去

八十八年十一月五日茅三百八十四号ヲ以テ上申

仕我知同年十二月五日付ヲ以テ目下建設

ヲ要ヤサレ儀ト可相心得与御拵合相成

成要匠事該島、向ケ磯業等ヲ試スル

者有之取締上ニモ関係不勘義ニ付去ル

十八年繕々上申仕我通本縣ノ取摺ト

シ其目標建設仕我至急仰御指揮

云且襄十、上申、及御坊令寫相添、此
殿重テ上申、

明治廿六年 土月二日

中綴知事 奈良原繁 印

内務大臣任壽井上拓多殿
外務大臣 陸奥宗玄殿

甲号

甲第百十一号

久場島魚釣島へ本県所轄標杭
建設之義ニ付上申

本県下八重山群島ノ北西二位セル無人島久場
島魚釣島之義本県所轄トシ大東島ノ例
ニ倣ヒ本県所轄ノ標杭建設致度儀ニ付去
ル十八年十一月五日第三百八十四号ヲ以テ上申
仕候処同年十二月五日付ヲ以テ目下建設
ヲ要セサル儀ト可相心得旨御指令相成
候処近来該島へ向ケ漁業等ヲ試ミル
者有之取締上ニモ關係不尠義ニ付去ル
十八年縷々上申仕候通本県ノ所轄ト
シ其目標建設仕度候条至急仰御指揮
度曩キノ上申書及御指令写相添へ此
段重テ上申候也

明治二十六年十一月二日

沖縄県知事奈良原繁 ⑩

内務大臣伯爵井上馨殿
外務大臣 陸奥宗光殿